

## 7 明日を担う青少年を育む家庭・地域の教育力の向上 【社会教育課】

大項目	1) 家庭の教育力の向上													
中項目	小項目／点検・評価													
(1) 家庭教育支援体制の充実	① 家庭教育学級の開催による家庭の教育力の向上													
	<p>○子育て支援講座「のびのび倶楽部<sup>42</sup>」「すくすく倶楽部<sup>42</sup>」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・のびのび倶楽部（1～2歳児）           <ul style="list-style-type: none"> <li>期 間：令和2年5月20日（水）～令和3年1月20日（水）</li> <li>回 数：21回</li> <li>【新型コロナウイルス感染症予防対策のため回数縮小】</li> <li>参加者：26組（定員：20組）</li> <li>【新型コロナウイルス感染症予防対策のため規模縮小】</li> </ul> </li> <li>・すくすく倶楽部（2～3歳児）           <ul style="list-style-type: none"> <li>期 間：令和2年5月14日（木）～令和3年1月28日（木）</li> <li>回 数：16回</li> <li>【新型コロナウイルス感染症予防対策のため回数縮小】</li> <li>参加者：14組（定員：20組）</li> <li>【新型コロナウイルス感染症予防対策のため規模縮小】</li> <li>内 容：ピクニックやびわ狩り等の屋外での教室やクリスマス会、人形劇観覧等、さまざまなメニューを計画し実施した</li> </ul> </li> </ul> <p>○「ながさきファミリープログラム<sup>43</sup>」によるファシリテーター<sup>44</sup>を活用した家庭教育講座の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【新型コロナウイルス感染症予防対策のため規模未実施】</li> </ul> <p>○ファシリテータースキルアップ研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>期 日：令和2年10月23日（金）</li> <li>参加者：7名</li> <li>講 師：長崎県生涯学習課 金丸 直樹 氏</li> <li>「ファミリープログラムの必要性とファシリテーターの役割」</li> </ul> <table border="1" data-bbox="411 1534 1420 1758"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>基 準</th> <th>実 績</th> <th>目 標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>のびのび倶楽部・すくすく倶楽部参加者（延べ人数）</td> <td>平成26年度 2,207人</td> <td>令和2年度 542人</td> <td>令和2年度 2,300人</td> </tr> <tr> <td>家庭教育講座受講者数（延べ人数）</td> <td>616人</td> <td>24人</td> <td>700人</td> </tr> </tbody> </table>			指 標	基 準	実 績	目 標	のびのび倶楽部・すくすく倶楽部参加者（延べ人数）	平成26年度 2,207人	令和2年度 542人	令和2年度 2,300人	家庭教育講座受講者数（延べ人数）	616人	24人
指 標	基 準	実 績	目 標											
のびのび倶楽部・すくすく倶楽部参加者（延べ人数）	平成26年度 2,207人	令和2年度 542人	令和2年度 2,300人											
家庭教育講座受講者数（延べ人数）	616人	24人	700人											

<sup>42</sup> 育児中の親が、子どもと共に様々な活動を体験しながら親同士の交流を深め、子育ての楽しみと大切さを実感し、親として互いに成長することを目的とした講座。

<sup>43</sup> 長崎県が平成22年度に作成した参加型の親育ち学習プログラムで、グループ学習により親同士が交流し、支え合う関係を築き、またネットワーク構築を目指す。

<sup>44</sup> 会議の進行役。参加者に発言を促したり、話の流れをまとめたりする役割を担う。

中項目	小項目／点検・評価
	<p>○本年はファシリテーター研修会を実施し 7 名が参加した。少人数ではあったが、各々の抱える課題等の解決策や演習を交えファシリテーターのスキルアップには良い機会となった。</p> <p><b>【課題・今後の取組】</b></p> <p>○ファシリテーターの資質向上と町事業での活用が今後の課題である。</p> <p>○ファシリテーターの更なる資質向上を目指し、継続して研修会を開催する。</p> <p>○令和 3 年度からは、PTA と連携し、PTA が主催する研修会等で「ながさきファミリープログラム」を活用した家庭教育講座を行っていく。</p> <p>○本年も就学予定の保護者に対する家庭教育学級を開催できなかったため、各町立小・中学校の協力を得ながら実現に努めたい。</p>
	<p><b>②家庭教育に関する情報提供および相談体制の充実</b></p> <p>○「五つのしおり」運動の普及・啓発（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「五つのしおり」の啓発のため町内 8 カ所に看板設置を行った。 子々川、日並、久留里、左底、浦、野田、元村 1、元村 2</li> <li>・社会教育委員による方策委員会及び分析委員会は、テーマを「子ほめ事業の啓発」で実施予定であったが、コロナ禍の影響で未実施となった。</li> <li>・「五つのしおり」を題材とした 4 つの標語を定期的にローテーションし時津町役場、時津公民館別館、コスモス会館及び北部コミュニティセンターに掲げ啓発を行った。</li> </ul> <p><b>【課題・今後の取組】</b></p> <p>○アンケートの分析や今後の方策を検討する社会教育委員会中の小委員会活動を継続し、「五つのしおり」運動を含め、「子ほめ事業」の積極的な推進に努める。</p> <p>○引き続き町広報紙等への掲載やチラシ配布などによる普及・啓発を推進するとともに、アンケート調査結果に基づく課題に取り組んで行く。</p>
	<p><b>③家庭教育力向上のための P T A との連携強化及び支援</b></p> <p>○小中学校 P T A が家庭の教育力向上のために実施する各種事業への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育成事業補助金： 83,000 円</li> <li>・研修事業補助金： 352,000 円（事業未実施のため町へ返納）</li> </ul>

中項目	小項目／点検・評価			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P T A 連合会評議員会への出席 【新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止】</li> <li>・ 県主催 P T A 関係研修会の周知、参加取りまとめ</li> <li>・ 町 P T A 連合会主催研修会の講師派遣支援 【新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止】</li> <li>・ 鳴北中学校区地区 P T A 3 校合同講演会開催への支援 【新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止】</li> </ul>			
	指 標	基 準	実 績	目 標
	研修会等の開催	平成 26 年度	令和 2 年度	令和 2 年度
		1 中学校区	0 中学校区	2 中学校区
	<p>○新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、P T A 連合会と教育委員会との協議や打合せをしておらず、P T A 活動の活性化支援につなげることができなかった。</p> <p><b>【課題・今後の取組】</b></p> <p>○ P T A 連合会と教育委員会との協議を積極的に行い、共通理解のもとに各小中学校の P T A 活動計画にファミリープログラムを取り入れ実践できるよう教育委員会もサポートして、家庭教育力の向上につなげていく。</p> <p>○ 令和 2 年度の携帯電話の保有率について、小学校低学年 19.0%、小学校高学年 34.6%、中学生 75.4%、高校生 92.4%と全国的に小学生の保有率は減少している傾向にあるが中高生は非常に高く、フィルタリングの設定率をみると小学生低学年 44.3%、小学校高学年 53.3%、中学生 51.8%、高校生 32.0%となっており、今後、設定率が低くなっていく傾向も考えられる。</p> <p>このため、あらためて時津町 P T A 連合会を軸に、単位 P T A と連携しながら「ケータイ・スマホは夜 9 時まで！～夜 9 時以降は親が預かる～」などの家庭内でのルールを定め、正しく安全に使用するよう啓発に努めていく。</p> <p>○ 各家庭のルール実態を把握するため、年に一度はアンケートを実施し、その結果を踏まえ、子どもたちが犯罪に巻き込まれないよう家庭教育講座や研修会等を開催する。</p> <p>○ 時津中学校区 3 校での合同研修会の実施を目指し、テーマに沿った講師の発掘や日程調整等の助言・協議を行う。</p>			

大項目	2) 青少年健全育成
中項目	小項目／点検・評価
(1) 青少年健全育成体制の強化	<p>①青少年の健全育成町民会議及び子ども育成連絡協議会の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○青少年健全育成町民会議事業への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・育成事業補助金：1,095,000円 (各地区青少年健全育成協議会への補助金を含む)</li> <li>・社会教育課に事務局を設置</li> <li>・機関誌「こすもす」発行(4月・10月／年2回)</li> <li>・春休み、夏休み、冬休みにおける帰宅放送の実施</li> <li>・夏、冬休み健全育成チラシ全世帯配布</li> <li>・子ども110番の家設置事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 子ども110番の家協力戸数：423戸(令和2年度末)</li> <li>イ 子ども110番の家情報交換会 <ul style="list-style-type: none"> <li>西時津地区 令和2年10月21日(水) 22人</li> <li>元村2地区 令和2年10月23日(金) 44人</li> <li>左底地区 令和2年10月28日(水) 24人</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○地区青少年健全育成協議会の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年健全育成町民会議を通じ、各地区青少年健全育成協議会へ補助金を交付 50,000円×10団体</li> </ul> </li> <li>○夜間パトロールの実施や有害図書類販売店等の巡回 <ul style="list-style-type: none"> <li>・とぎつ夏まつりの際の夜間パトロール 中止</li> <li>・有害図書類販売店等の立入調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年7月17日(金) 12カ所</li> <li>令和2年11月18日(水) 12カ所</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○町子ども育成会連絡協議会事業への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・育成事業補助金：560,000円(事業未実施分231,247円を町へ返納)</li> <li>・社会教育課に事務局を設置</li> <li>・ジュニアリーダーキャンプ研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>期 間：令和2年6月27日(土)～28日(日)</li> <li>【新型コロナウイルス感染症対策のため中止】</li> <li>場 所：崎野自然公園</li> </ul> </li> <li>・ピースキャンドル作製、点灯 <ul style="list-style-type: none"> <li>点灯式：令和2年8月9日(日)</li> <li>【新型コロナウイルス感染症対策のため中止】</li> <li>場 所：時津ウォーターフロント公園</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

中項目	小項目／点検・評価
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい自然体験教室 期 日：令和3年3月6日（土） 場 所：国立諫早青少年自然の家 参加者：41人</li> <li>・子ども実績発表会 期 日：令和3年3月7日（日）中止 新型コロナウイルス感染症の影響により、各単位子ども会および町子連主催の活動ができず、活動実績がないことから、子ども会実績発表会を中止とした。</li> </ul> <p>○子ども育成会連絡協議会主催事業について、参加者が年々減少してきている。</p> <p>新型コロナウイルス感染予防対策のため、年間を通した子ども会活動が実施できなかったため、子ども会実績発表と子ども会相互の交流が思うようにできなかった。</p> <p>○少年の主張大会 期 日：令和2年12月6日（日） 場 所：とぎつカナリーホール 発表者：13人 参加者：390人</p> <p>少年の主張大会については、昨年から中学3年生を除外し、町立小学校各学年1名、町立中学生各学年3名及び青雲中学校1名で実施している。</p> <p><b>【課題・今後の取組】</b></p> <p>○子ども育成会連絡協議会主催事業について、参加者が年々減少してきているため、「新しい生活様式」を取り入れて事業の工夫を行いながら、事業内容や活動計画の見直しを図る。</p>
(2) 青少年健全育成活動の充実・促進	<p>①青少年の居場所づくり事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○土曜学習事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・とぎつサタデールーム <b>【新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止】</b></li> <li>・寺子屋とぎつ塾 期 間：令和2年9月5日（土）～令和3年2月20日（土） 回 数：10回</li> </ul> </li> </ul>

中項目	小項目／点検・評価			
	参加者：36人 ・時津小学校区放課後子ども教室 期 間：令和2年9月～令和3年3月 回 数：毎週水曜日（夏休み、冬休みを除く） 参加者：12人			
	指 標	基 準	実 績	目 標
	地域子ども教室実施数	平成26年度 1箇所	令和2年度 3箇所	令和2年度 4箇所
	<b>【課題・今後の取組】</b> ○「寺子屋とぎつ塾」では、参加した児童生徒の保護者から好意的な意見が寄せられているため、継続して実施していきたい。令和3年度からは会場を「茶屋（本陣）」内に移し、可能な限り子どもたちの理解力の向上に努めていきたい。 ○「とぎつサタデールーム」は、時津町の歴史や環境問題についてなど様々な事業を実施している。運営については、コロナ禍の影響により大学生の協力が困難となっている。このため、婦人会及びシニアクラブ等社会教育団体に協力を得ながら事業の推進を図り、多世代交流を行う事業として実施し支援を行っていく。 ○「時津小学校区放課後子ども教室」は、今年度、大学生の協力が難しい状況ではあったが、地域の協力を得ながら活動の充実が図れるよう積極的な支援を行う。			
	<b>②子ども会活動の活性化に向けた支援</b> ○子ども会加入促進 ・小学校新入学説明会での子ども会加入説明、チラシ配布 時津北小学校：令和3年2月5日（金） 入学者数91人 時津小学校：令和3年2月10日（水） 入学者数60人 鳴鼓小学校：令和3年2月10日（水） 入学者数64人 時津東小学校：令和3年2月3日（水） 入学者数82人 ・子ども会加入者数（幼児～高学生）：1,137人（令和2年度末） （指導者・育成者）：502人（令和2年度末） 合 計：1,639人（令和2年度末）			

中項目	小項目／点検・評価			
	指 標	基 準	実 績	目 標
	子ども会加入率	平成 26 年度 66%	令和 2 年度 49.5%	令和 2 年度 70%
	<p>○子ども会への加入促進のため、小学校新入学説明会の折に、保護者に加入及び活動の理解を得られるよう説明を行っている。</p> <p>令和元年度までは、鳴鼓小学校での子ども会加入案内を停止していたが、子ども育成会長からの要望があり、令和 2 年度は鳴鼓小学校入学説明会の際に子ども会加入の案内を行った。令和 3 年度以降についても同様に行うこととする。</p> <p><b>【課題・今後の取組】</b></p> <p>○子ども会加入率の低下が顕著であり、子ども会の加入促進が課題である。</p> <p>○引き続き、小学校新入学説明会での加入説明・チラシ配布を行い、加入促進に努めるとともに、子ども会活動が停止している地区には、地区の事情を把握するなど、個別に対応する。</p>			
	<p><b>③青少年の地域活動への参加促進</b></p> <p>○自治公民館等が主催する青少年健全育成事業への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子々川地区 夜間パトロール（8月）</li> <li>・日並地区 青色防犯パトロール（通年）</li> <li>・久留里地区 夜間パトロール（通年）、ラジオ体操（8月）</li> <li>・左底地区 鬼火焚き（1月）、夜間パトロール（通年）、110番の家協力者懇談会（10月）</li> <li>・元村1地区 夜間パトロール（8月）</li> <li>・元村2地区 2分の1成人式（1月）</li> <li>・野田地区 鬼火焚き（1月）</li> </ul>			

中項目	小項目／点検・評価
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浦地区 中止</li> <li>・浜田地区 夜間パトロール（7月）</li> <li>・小島田地区 中止</li> <li>・西時津地区 鬼火焚き（1月）</li> </ul> <p>○時津町青少年健全育成町民会議企画推進委員会において、各地区の取組や課題等について、情報共有や意見交換を行っている。</p> <p><b>④「とぎっ子の夢を育む基金」の活用による青少年健全育成活動、子ども会活動の推進【教育総務課】</b></p> <p>○とぎっ子の夢を育む補助金 32件 2,629,400円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年団体体験事業 1件 32,300円</li> <li>・青少年健全育成提案事業 0件 0円</li> <li>・大会等参加事業 31件 2,597,100円 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア スポーツ関係 23件（セーリング、ソフトボールほか） 国際大会0件、全国大会10件、西日本・九州大会13件</li> <li>イ 文化関係 0件</li> <li>ウ 研 修 0件</li> <li>エ 応援懸垂幕・横断幕 8件（スポーツ）</li> </ul> </li> </ul> <p>○とぎっ子の夢を育む奨励金 3件 640,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ関係 2件（柔道、ボーリング）</li> <li>・文化関係 1件（吹奏楽部）</li> </ul>
<b>項目</b>	<b>3) 地域の教育力の向上</b>
中項目	小項目／点検・評価
(1) 地域の教育支援体制	<p><b>①通学合宿事業の実施</b></p> <p>○通学合宿実施の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元村二地区及び日並地区とも、新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止。</li> </ul> <p>他地区においても、今年度は推進等を実施できなかった。</p>



中項目	小項目／点検・評価			
	指 標	基 準	実 績	目 標
	通学合宿実施数	平成 26 年度 2 箇所	令和 2 年度 0 箇所	令和 2 年度 4 箇所
<p>○通学合宿事業を実施している日並、元村二地区の継続及び実施地区の拡大を図るため、広報紙及びホームページ等に掲載し、実施状況の周知を予定していたが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、各地区が諸事業を中止していることから、推進を積極的にできなかった。</p> <p><b>【課題・今後の取組】</b></p> <p>○令和 3 年度も通学合宿の実施は厳しいと思われるが、新型コロナウイルス感染症収束後の実施に向け、新たな地区に働きかける。</p> <p>○「とぎつつ子の夢を育む補助金」制度の周知に努め、補助金の有効活用により事業実施を促進する。</p>				
<p><b>②地域による家庭教育講座の実施</b></p> <p>○家庭教育モデル事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジョイパパママ<sup>45</sup> i n 元村の開催</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジョイパパママ i n 左底の開催</li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">期 日：令和 2 年 9 月 13 日（日）</p> <p style="margin-left: 40px;">参加者： 24 名</p> <p style="text-align: center;"><b>【新型コロナウイルス感染症予防対策のため、1 回のみの実施】</b></p> <p>○現在、家庭教育モデル事業は、元村地区と左底地区で事業を展開している。元村地区については、今年度コロナ禍により予定していた 4 事業が全て中止となってしまった。左底地区は 3 年目となり少しずつ定着してきている。しかし、元村地区同様に事業実施は予定していた 3 事業中 1 事業の実施となった。</p>				
	指 標	基 準	実 績	目 標
	家庭教育講座開催箇所数	平成 26 年度 —	令和 2 年度 1 箇所	令和 2 年度 2 箇所

<sup>45</sup> 地域が主体となって、地域の方々との交流を図りながら若いお父さん・お母さんが楽しく子育てを学ぶ学習会。

中項目	小項目／点検・評価
	<p><b>【課題・今後の取組】</b></p> <p>○次年度も引き続き新型コロナウイルス感染症予防対策による講座等への影響が想定されるため、日程調整に十分注意し、「新しい生活様式」に留意しながら事業の充実を図って行く。</p> <p>○「エンジョイパママ事業」において、新たに野田地区で実施するよう準備を進めてきている。令和3年度は野田地区への委託事業として取組みを行い、地域事業としての定着を図って行く。</p> <hr/> <p><b>③子ほめ事業の実施</b></p> <p>○時津公民館や時津図書館など町内社会教育施設に設置してある「子ほめポスト」に投函された「子ほめカード」を各小中学校へ回送し、全校集会等において紹介している。また、各地区公民館にも「子ほめポスト」を設置し、地区青少協でも紹介を行っている。</p> <p>○10月発行の町民会議機関紙「こすもす」に「子ほめ事業」にかかる記事を掲載し周知を図った。</p> <p><b>【課題・今後の取組】</b></p> <p>○子ほめ事業の周知を図るため、子どもたちの良さを積極的にポストに入れるなど意識を高め、町民会議を中心に各地区青少年協議会の取り組みの情報交換を行いながら浸透を促していく。</p> <p>○「子ども110番の家」の協力者や登下校時の見守り隊などの関係団体との意見交換会を実施し、子どもたちの現状を把握しながら、「子ほめ事業」の啓発に努める。</p>
<p>(2) 学校支援会議 活動の推進</p>	<p><b>①学校支援会議（学校単位毎の組織）の活動の活性化</b></p> <p>○学校運営協議会及び学校支援会議との情報交換会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町PTA連絡協議会を窓口として情報交換会の実施に向け協議を行ったが、実施には至らなかった。</li> </ul> <p>○学校支援会議コーディネーターの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県主催の学校支援会議コーディネーター研修会への参加</li> </ul> <p>令和2年度地域学校協働活動実践交流会及び第2回放課後子どもプラン指導者研修会</p> <p>期 日：令和3年1月22日（金）</p> <p><b>【新型コロナウイルス感染症対策のため中止】</b></p> <p>場 所：長崎県庁</p>

中項目	小項目／点検・評価
	<p>【課題・今後の取組】</p> <p>○コーディネーターの研修の機会をつくり、イニシアチブが取れる役員の確保に努め、学校運営協議会及び学校支援会議の活性化を図る。</p>



(「子ども 110 番の家」設置協力者等との情報交換会)



(町子連 ふれあい自然体験教室)



(寺子屋とぎつ塾)





(放課後子ども教室)



(エンジョイパパママ in 左底)